

新型コロナウイルス感染症対策本部（第12回）

議事概要

1 日時

令和2年2月23日（日）15時40分～15時57分

2 場所

官邸4階大会議室

3 出席者

内閣総理大臣 安倍 晋三

総務大臣，内閣府特命担当大臣 高市 早苗

法務大臣 森 まさこ

外務大臣 茂木 敏充

文部科学大臣 萩生田 光一

厚生労働大臣 加藤 勝信

農林水産大臣 江藤 拓

経済産業大臣，内閣府特命担当大臣 梶山 弘志

国土交通大臣 赤羽 一嘉

環境大臣，内閣府特命担当大臣 小泉 進次郎

防衛大臣 河野 太郎

内閣官房長官 菅 義偉

復興大臣 田中 和徳

国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣 武田 良太

内閣府特命担当大臣 衛藤 晟一

内閣府特命担当大臣 竹本 直一

内閣府特命担当大臣 西村 康稔

内閣府特命担当大臣 北村 誠吾

東京オリンピック・パラリンピック担当大臣、内閣府特命担当大臣 橋本 聖子

財務副大臣 遠山 清彦

内閣府副大臣 宮下 一郎

内閣官房副長官 西村 明宏

内閣官房副長官 岡田 直樹

内閣官房副長官 杉田 和博

内閣法制局長官 近藤 正春

内閣総理大臣補佐官 木原 稔

内閣総理大臣補佐官 和泉 洋人

内閣総理大臣補佐官 長谷川 榮一

内閣危機管理監 沖田 芳樹

国家安全保障局長 北村 滋

内閣官房副長官補 古谷 一之
内閣官房副長官補 前田 哲
内閣情報官 瀧澤 裕昭

4 議事概要

【厚生労働大臣】

国内の発症例は本日までで132例であり、特に、最近の発生事例を見ますと、現時点で明らかな感染経路が判明していない事例がかなりの割合を占めています。こうした国内感染の発生状況を踏まえて開催いたしました専門家会合において、新型インフルエンザ対策の基本的対処方針をベースに、新型コロナウイルス感染症対策に関する基本方針の策定準備についてご意見をいただいているところです。

私もこの間、専門家の方々と様々な意見を交わしてまいりました。現在の国内での発生状況を見ると、現時点は図の太い赤い線と紫色の線のちょうど分かれ目にあり、問題はこの増加のスピードをいかに抑制していくのか、そして流行のピークをどう下げていくのか、そしてその間、医療の限界線を上げることによって、最終的なピーク時においても医療提供体制が整っている、こういう状況を作っていくことが非常に重要です。したがって現下の対応と次に向けての準備が大事であると考えています。

クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の乗客については、2月19日から、順次下船していただいております。本日まで、合計982名の方が下船されています。濃厚接触者の方89名にも下船していただき、政府が用意した宿泊施設に移動しています。さらに、外国のチャーター便により、すでにかかなりの数の方が帰国し、これからも帰国されます。クルーの方々についても、PCR検査を逐次行って、下船に向けた準備を進めたいと思います。

2月19日から下船を開始した方々については、これまでも不要不急の外出を控えること等をお願いしフォローアップを行ってまいりましたが、下船前の検査結果が陰性だったものの、その後発症し、下船後に陽性となった方が、昨日1名栃木県で確認されました。本件について、濃厚接触者の把握を含めた積極的疫学調査を行っていくとともに、この事実は真摯に受け止めていかねばならないと思っています。今後、下船された方々の健康状態のフォローアップ体制を、地域の保健所等による確認を頻繁に行うことによって、よりしっかりした体制を作っていきたいと思っています。

ダイヤモンド・プリンセス号に乗船して事務業務に従事していた政府職員については、これまで4名が新型コロナウイルスに感染したことが確認されております。改めて船内での業務に従事する職員の感染防御策を確認し、感染防止を徹底したいと思っております。厚生労働省では、これまで乗船して従事した厚生労働省職員、現在活動中の職員及び今後活動する職員について、活動終了後にPCR検査を実施するほか、下船後2週間は症状の有無にかかわらず、自宅等でのテレワークを行うことにしています。

現在、新型コロナウイルスに対する治療薬はありません。ただ、新型インフルエンザの治療薬やHIV治療薬等が効果があるのではないかとの指摘があることから、研究開発の一環として、患者の同意のもと投与が開始されています。具体的には、新型インフルエンザの治療薬であるアビガンについて、2月21日に国立国際医療研究セ

ンターを中心とする研究班を立ち上げ、すでに 2 つの医療機関で新型コロナウイルス感染症の患者に対する投与の具体的な準備に入り、すでに 1 つの医療機関では昨日から投与が開始されたところです。これは当然に安全性に十分配慮しつつ、研究に参加する医療機関を順次拡大していきたいと思えます。また、アビガンに加えて、HIV 治療薬のカレトラや新薬候補のレムデシビルについても、観察研究の一環として、新型コロナウイルス感染症の患者に対する投与を進めていくとともに、レムデシビルについては、3 月には医師主導治験を展開する予定です。

引き続き、国内での感染拡大の防止と重症化防止に全力をあげて取り組んでまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

【外務大臣】

ダイヤモンド・プリンセス号の外国人乗客・乗員の帰国オペレーションにつきましては、17 日の米国の帰国から始まり、21 日以降も、香港の第 2 便・第 3 便、台湾、イタリア、英国、ロシアが航空機を運航して、これまでに合計で 936 名が日本を出国しました。また、インド、インドネシア及びフィリピンが、今後航空機の派遣により自国民の、大半が乗客ではなく乗員ですが、帰国をさせる意向であります。

一方、海外の感染状況につきまして、WHO は、中国における感染者数の増加に鈍化の傾向が見られるものの、今後については慎重な判断が必要としております。実際に、山東省、浙江省及び湖北省の刑務所等で合計 500 名以上の集団感染が発生したとの情報がありまして、引き続き注視が必要だと考えております。韓国では大邱広域市及び慶尚北道で感染症例が急増したことを受けまして、外務省では、昨日 22 日、在留邦人や渡航者に最新情報の収集と感染予防を呼びかける感染症スポット情報を発出し、また、本日、在韓国日本大使館及び在釜山日本総領事館から領事メールも発出したところです。

対外的情報発信については、クルーズ船への対応も含め、我が国の状況や取組に関する正確な情報を、国内外に適時・適切に発信していくことが重要でありまして、既に厚生労働省等と協力して、在京外交団や外国プレス向けにブリーフィングを複数回、実施しているほか、在外公館を通じた説明・発信も実施してきている。特に一昨日 2 月 21 日に行いました感染症の専門家による外国プレス向け記者会見は動画をネット上で公開しております。引き続き関係省庁と連携して、正確かつタイムリーな対外発信に取り組んでいきたいと思えます。

【文部科学大臣】

学校関係者の感染が相次いで確認されていますが、すでに全国の教育委員会等に対しては、学校で一人でも感染が確認された場合は、学校の全部または一部の臨時休業の必要性について、都道府県の衛生部局等と相談しつつ判断するよう求めているところです。また、高校や大学の入試については、試験会場において感染症対策を行うとともに、感染した生徒等の受検機会を確保する観点から、追試験の実施等の柔軟な対応を検討するよう依頼しているところです。

今後とも、学校における子どもへの感染拡大を防ぐよう、しっかりと対応してまいります。

【農林水産大臣】

政府一丸となって、感染拡大を防ぐため、農林水産省としては、CSF や病害虫などの侵入・まん延防止にまずは努めながら、PCR 検査による感染者の把握に、できる限り協力してまいります。

また、職場における感染拡大の防止として農林水産省の全体の機能がしっかり維持できるよう、本省及び地方局において、25 日から、緊急的にテレワークの拡大と時差出勤の活用を図ることとしました。

今後とも、食品製造業・外食産業はじめ所管の業種に対して、的確な情報提供や状況把握に努めてまいります。

【防衛大臣】

本日時点で 724 名の自衛隊員が新型コロナウイルス対応にあたっており、「ダイヤモンド・プリンセス号」には厚生労働省の政府職員とともに、多くの自衛隊員が支援要員として任務にあっています。現場では、適切に区域管理（ゾーニング）がされていることは承知していますが、これまで 4 人の政府職員が感染していることを踏まえると、今一度、各人の感染防御意識を浸透させるよう強く指導する必要があると思います。また、「ダイヤモンド・プリンセス号」で勤務していた厚生労働省の政府職員が感染した原因等について、今後の検証が可能となるよう、関係するあらゆる情報をしっかりと残していただきたいと思います。

【経済産業大臣】

経済産業省では発熱などの風邪症状のある方が外出を控えやすいようにテレワークなどの環境整備を進めるよう所管企業団体に対し、周知しております。加えて、特に持病のある方が人込み避ける観点から時差出勤などの活用も検討して頂きたいと、所管企業団体に対して周知をしてまいります。

【内閣官房長官】

各省においてもテレワークや時差出勤、この取り組みを積極的に進めていただきたいと思います。

【内閣総理大臣】

国内の複数地域で、感染経路が明らかではない患者が発生しています。現時点は、大規模な感染拡大を防止する上で、重要な局面です。確実かつ効果的な感染拡大防止策を講じ、患者増加のスピードを抑制することは、今後の流行を抑える上で、極めて重要です。同時に今後、国内で患者数が大幅に増えた時に備え、重症者の発生を抑制する観点から、重症化防止を中心とした医療提供体制を早急に整える必要があります。

現在の状況を的確に把握し、国や地方自治体、医療関係者、事業者、そして国民の

皆様が一丸となって、対策を更に進めていく必要があります。各位にあつては、今後の状況の進展を見据えて、国民の皆様や企業に対する情報提供、感染拡大防止策、医療提供体制等について、講じていくべき対策を整理し、国民の皆様に総合的な基本方針として早急にお示しできるよう、厚生労働大臣を中心に作業を進めてください。

新型コロナウイルス感染症に対する治療薬の研究開発も極めて重要です。新型インフルエンザの治療薬であるアビガン等について、必要な患者の方に、丁寧に説明をし、同意を得た上で、既に一部の医療機関で投与を開始しています。先般取りまとめた緊急対応策に基づき、取組を加速してください。

また、クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」については、PCR検査が陰性で、14日間の健康観察期間が終了した方々から、健康状態を改めて確認の上、順次下船を開始し、ほとんどの乗客の方々が下船されました。今後、下船された方々の健康状態のフォローアップを更に強化してください。

外国籍の方々については、各国のチャーター機等での帰国が順次進められてきており、各国・地域とも連携して対応しているところです。引き続き、乗員の方々についても、船の機能維持などに留意しつつ、下船に向けた必要な検討を進めてください。

感染拡大防止のためには、今が重要な時期です。繰り返しになりますが、国民の皆様におかれましては、風邪のような症状がある場合は、学校や仕事を休み、外出を控えるとともに、手洗いや咳エチケットの徹底など、感染拡大防止につながる行動に御協力をお願いします。

以 上